

【学 長】

## 研究インテグリティ・マネジメント委員会

安全保障  
輸出管理

利益相反  
マネジメント

海外交流・  
留学生受入等

教職員服務・  
兼業手続等

寄附金・物品等  
受入

委員長：研究インテグリティ・マネジメント統括責任者（研究を担当する副学長）

構成員：産学連携を担当する副学長、基幹研究院長、人事労務課長、財務課長、研究・産学連携課長、国際課長、監査室長等  
情報の共有とリスク分析及びリスクマネジメント

### 【研究の国際化やオープン化（外国機関等との学術交流や産学連携）に伴う新たな懸念リスク】

- ①利益相反・責務相反が適切に管理されない懸念リスク
- ②技術流出・情報流出につながる懸念リスク
- ③研究・教育活動に影響する懸念リスク
- ④大学の信頼を低下させる懸念リスク

### 【想定されるリスクの例】

- 外国機関等との兼業、クロスアポイントメント、名誉職称号等
- 外国機関等との共同研究契約、受託研究契約等
- 外国機関等からの寄附金、助成金、物品等の受入
- 外国機関等からの研究員・学生等の受入  
または外国機関等への研究者・学生等の派遣
- 外国機関等への安全保障輸出管理に関すること

相談窓口

懸念リスクの相談

### 【研究インテグリティの目的】

外国機関等との研究活動が委縮しないように留意しつつ、懸念リスクを研究者個人任せとせず、大学が組織として説明責任を果たすことで、国際的に信頼性のある研究環境を構築を構築すること

<各担当窓口>

- ・ 教員採用
- ・ 兼業
- ・ 出張
- ・ 共同研究、受託研究等受入
- ・ 物品等受入承認
- ・ 研究員、留学生受入
- ・ 他機関との協定書締結 等

学内ルールに基づき申請・相談・届出（情報の開示）（従来通り）

研究者（教員、大学院生等）